区民の皆様と区政をつなぐ情報発信誌　Vol.41 2017 春号

港区議会議員

二島（にしま）とよじ

活動レポート

走る! 動く! 変える!

Nishima Toyoji Activity report

■発行／自民党議員団所属 二島豊司
港区白金1-13-11
ときおかビル2F
TEL.03-3449-7328
FAX.03-3444-6933

自民党議員団幹事長に就任

区議会の第一会派の幹事長として区民の皆様の期待に真摯に応える!

本年1月より港区議会自民党議員団の幹事長を務めることになりました。

今後は会派の責任者として、会派内の取りまとめを行うことと併せて、他の会派との折衝や、行政から提供される様々な情報の調整、周知への対応など、港区議会第一会派の幹事長として、幅広く議会運営に関する職責を担うことになります。重責ではありますが、自民党はもとより区議会全体としての信頼の醸成に努めるとともに、区民の声がより一層反映される港区議会となるよう、精一杯力を尽くす覚悟です。

第1回定例会で代表質問に立ち、4期目の区長の政策の具体策を問う。

2月15日から3月14日までの28日間、平成29年第1回定例会が開催され、早速幹事長として自民党議員団を代表して質問に立ちました。

昨年の港区長選挙において4期目の区政運営を託された武井区長にとって、今定例会に提出された平成29年度予算案は、選挙を通じて区民の皆様に訴えてきた政策の具体策となります。過去最大規模となる1661億円を超える一般会計予算案を踏まえ、武井区長の進めようとしている港区政の方針について幅広く質問、提案をしました。

港区の人口は25万人を突破。堅調な財政のもとで、次の未来を描く!

区政70周年の節目を迎えた今年、港区の人口は昭和38年以来54年ぶりに25万人を超えました。当面の間、乳幼児から高齢者まですべての世代での人口増が続くと推計されていますが、人が増えることで地域の活力が増し発展へとつながるのと同時に、これまで保たれてきた行政需要のバランスが崩れてしまう可能性もあります。人口増がもたらすプラスの面を最大限還元しながら、マイナスの面に確実な手当てを行う。堅調な財政に支えられる現在の状況のもと、区民の抱える個々の課題にしっかりと光をあて、慎重な中にも将来を見据えた大胆で先進的な施策の実現を目指し、区民福祉の向上に資する区政運営がなされることが強く期待されています。

幹事長就任を契機とし、私自身決意を新たに区議会議員としての職務にまい進して参ります。引続き、皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

港区議会議員　二島　豊司

●ブログ　日々の活動や思いを発信中です。
http://ameblo.jp/nishimatoyoji/

●facebook　ぜひご覧下さい。宜しかったら友達申請もお願い致します。
http://facebook.com/nishimatoyoji

港区議会議員 二島とよじ
eメール　どうぞご意見をお寄せ下さい。
nishima@toyoji.jp

Close Up

二島とよじ、港区長に問う。

代表質問の概要

総額1,000億円規模の震災復興基金 区民にとって創設の意義を問う。

武井区長は、首都直下地震等が発生した際、発生直後から区民生活の再建、事業の再開及び地域の再生を実現するための財源として、今年度財政調整基金からの積替えを含め合計５００億円を積立て、さらに来年度から５年間をかけて総額１０００億円規模の震災復興基金を創設することを表明しました。１０００億円という大型の基金を創設する意義について説明を求めました。

スポーツ、観光、子育て支援、がん対策…。 区民の関心の高い分野も幅広く取り上げる

開催まで3年半となった東京２０２０大会に関連して、パラリンピック競技の普及を通じた機運醸成について、また民間の企業や団体を巻き込んだ観光プロモーションの展開についてなどに関し提案を行いました。

更に、児童相談所を含む（仮称）港区子ども家庭総合支援センター整備に着手するに際しては、地域との調和を、また今年度開設される区立がん緩和ケア支援センターを核とするがん対策については、自らががんサバイバーである武井区長から発せられる力強いメッセージを求めました。

その他、まちづくりに関する支所機能の強化や学校を支援する体制の更なる強化について、武井区長、青木教育長の見解を問うと同時に更なる推進を求めました。

二島とよじの質問項目

◎港区財政運営方針について
◎（略称）震災復興基金について
◎予算編成過程の公開について
◎入札･契約制度の見直しについて
◎区政70周年記念事業の成果と今後の展開について
◎東京2020オリンピック･パラリンピック大会に向けた機運醸成について
◎ICT施策について
◎がん対策について
◎（仮称）港区子ども家庭総合支援センター整備について
◎観光プロモーションについて
◎まちづくりマスタープランについて
◎まちづくりにおける支所機能の強化について
◎地域交通の課題解決について
◎学校と地域との連携を深める学校支援策について

※港区議会ホームページ内、『**インターネット録画中継**』で質疑の様子を動画でご覧になることができます。『**発言者**』から『**二島豊司**』をお選び下さい。

下記ホームページをぜひご覧下さい。ご意見･ご感想お待ちしております。

二島豊司（にしま・とよじ）プロフィール

●昭和47年（1972年）、栃木県足尾町（現･日光市）生まれ
●栃木県立宇都宮高校卒～早稲田大学法学部卒
●株式会社日本リース勤務～衆議院議員･梶山弘志秘書
●平成19年4月、港区議会議員に初当選（現在3期）
●ボーイスカウト港17団（港区白金）リーダー、ガールスカウト東京94団（港区白金）をサポートするリーダー、障がい者スイミングクラブボランティア等も行う
●家族は妻と2男（8歳、2歳）
◆自民党議員団　幹事長、港区議会総務常任委員会　委員長◆自民党東京都連青年局　副幹事長（元青年部幹事長）◆元･明治学院大学非常勤講師◆NPO法人 先端政策研究機構主任研究員

二島とよじ連絡先

●**事務所**／〒108-0072 港区白金 1-13-11 ときおかビル2階　TEL.03-3449-7328 FAX.03-3444-6933
●**自　宅**／〒108-0073 港区三田 5-7-12-707

二島とよじ ホームページ http://www.toyoji.jp/　**Eメール** nishima@toyoji.jp